

豊年會

第二三巻

2020年10月10日

紅馬 出石神社

夕立のゆうだち
雨
やまなくに
日はくれて
行きなやみ
たる
山の坂道さかみち

あせらばあせる程ほど 苦しみくるしみ
多くおほく 騒げばさわぐ程損をほどそん
する災添わざわいう運うんです けれど
何事なにことも控え目ひかめにして心静かこころしずか
に身まもを守り信神しんじん怠おこたらなけれ
ば却かえつて後のちは大の幸福こうふくあり

吉 小 勢 運

願望ねがいごと あせるな
人ひとに任せれば吉
道みちに妨さまたけあり来ず
待まち人ひと 物ものの間にあり
失物うせもの 急いそぐな 利益りえきなし
旅行たびだち 大きな損そんはなし
商売あきない 自己おのれの甘さを捨て勉学べんがくせよ
学問がくもん 山氣やまけを起すな
相場そうば

争事あらそい 勝かてど後のちに恨うらまれる
恋愛れんあい 自我じがを抑おさえること
転居やうつり 控ひかえておくがよし
出産おさん 身みを大切たいせつに取扱とりあつかえ
安心あんしんしてよし
病氣やまい 信神しんじんせよ
縁談えんだん 腹はら立ちて自ら破やぶる
恐おそあり人に任せよ

神の教

我心がしんがよく我慾がよくをはろうて胸むねは清きよい高峰たかねの 月の光

胸むねの苦しみ、心のもだえ、よく／＼考えて見れば、我身わがみびいき身勝手みがってから起おこつてい
る。我慾がよくをすて、他人たにんの幸福こうふくを念ねんじる心になり切きれば、広ひろらかな、すがしい氣持きもちに
かわつて来くる。そうだ何も神様におまかせして、神様と御ご一いつ体たいになるまで、御祈いのり
をつゞけましょう。